要請番号（JL05424A13）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
インド	G130 柔道	20～45歳のみ	個別	交替2代目	2年	・2024/3・2025/1・2025/2

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

社会正義エンパワメント省

2）配属機関名（日本語）

インド視覚障害者パラ柔道協会
NGO

3）任地（ ウッタル・プラデシュ州ラクナウ ） JICA事務所の所在地（ デリー準州デリー ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機+車 で 約 3.0 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

配属先は「スポーツと社会における平等」をモットーに2010年に設立された。柔道を通じた青少年健全育成や、社会における障害者への理解の促進を目的として、パラ柔道の普及促進に取り組んでいるほか、パラ柔道のインド代表選手の選考、強化も行っている。これまでに数回、国際大会へも出場し、2022年の国際大会では初めてメダルを獲得するなど、成績は年々向上している。2022年には道場と宿舎を備えた柔道アカデミーを建設し、視聴覚障害者柔道の更なる強化のみならず、地域における柔道の普及を促進している。これまで2名の隊員が派遣された実績がある。

【要請概要】

1）要請理由・背景

インドにおける障害者柔道は、歴史は浅いが、障害者の社会的地位の向上や社会参画のきっかけとなっている。他方、予算不足等の原因から、十分な知見を持つ柔道指導者の確保が困難であり、結果として次世代の指導者育成も進んでいない状況である。このような状況下、インドにおける障害者柔道の普及、競技レベルの向上、次世代指導者の育成が期待されて隊員が要請された。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1.新設された柔道アカデミーにおいて青少年選手(視覚・聴覚障害者含む)に対して指導を行う。(月～土 朝夕それぞれ2～3時間程度)
2.パラ柔道のインド代表選手の強化合宿において、選手の指導を行う。
3.柔道の礼儀作法の指導を通じて、社会参画や自立を促進する。
4.配属先の指示のもと、市外・州外の他の道場や学校等への出張指導を行う。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

柔道場、筋力トレーニング器具

4）配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
男性2名(40歳代・講道館2段・指導経験20年、40歳代・指導歴10年)

活動対象者:
3～22歳の男女、約30名(視覚・聴覚障害者含む)

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
ヒンディー語	ヒンディー語	英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：（柔道三段）

[学歴]：（大卒）　備考：配属先の要望

[性別]：（男性）　備考：配属先の要望

[経験]：（競技経験）5年以上　備考：配属先の要望

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖湿潤気候）　気温：（8～40°C位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可　電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.